

新漕ポンプ場 見学で学んだこと



私は、6月22日に「新漕ポンプ場」に行きました。
福山港フェリー乗り場駐車場の近くにあります。
私は、ここで貴重な体験をしました。



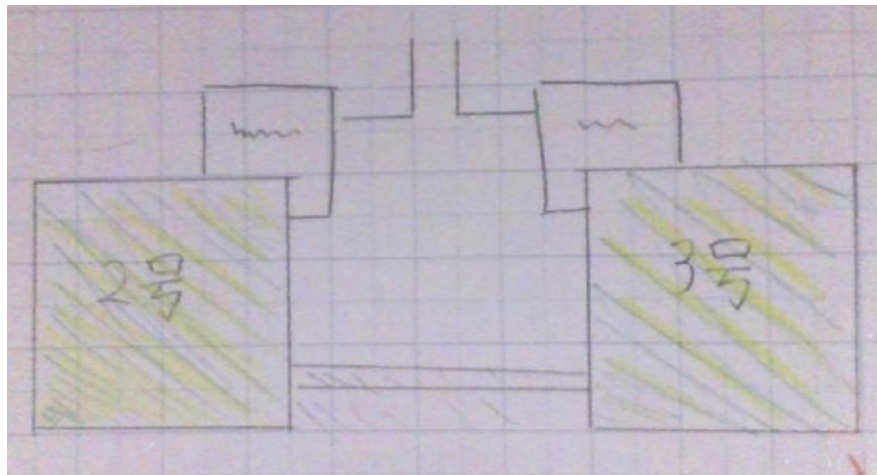
新漕ポンプ場は、海抜ゼロメートル地域の大新漕(新漕と曙のこと)に住む人の生活を守る極めて大切な施設です。特に台風や激しい降雨時(こううじ)には「命のポンプ場」として機能されています。



ポンプ場の中は・・・

中には2号機、3号機と言う2つのポンプがありました。

1号機は別の場所にあります。



中は、大きなポンプ、ガスタービンが入っていました。

ガスタービンが稼動(かどう)すると、水路の水を吸い込んで、海に放出することができます



今あるポンプの能力

出来た年月

1号:一秒に7600リットル

昭和41年

2号:一秒に11300リットル

令和2年

3号:一秒に11300リットル

平成19年

この3台を同時に起動すると、
小学校の25メートルプールが
約12秒で空になる能力がある。



クイズ！

ポンプ場には、曙と新涯につながっている水路があります。

どっちの方面からゴミが多く流れ着くでしょう？

1、曙方面

2、新涯方面

答えは、

1の曙方面でした。

ゴミを捨てないように協力しましょう！



ゴミは捨てたらだめ！

今、丸をしてある場所にゴミが溜まったら、
ここで働いている人が命がけで
網でゴミをすくってくれています。
なぜかと言うと、
ごみをそのままにすると
ポンプが起動しなくなるからです。
ゴミを命がけで拾っている人
に感謝しましょう！



命がけで拾ったゴミどうするの？

拾ったゴミは、今写っている写真のホッパーの中で集めて、業者さんがトラックの荷台に集めてまた別のところへ持っていきます。

拾ったゴミの中には、

缶、マット、木の板、

ベビーカー、椅子、

錆びた消化器などが流れ着いていました。



2号機、3号機などの「スイッチ」

この中には、作動スイッチ、

停止スイッチがある。

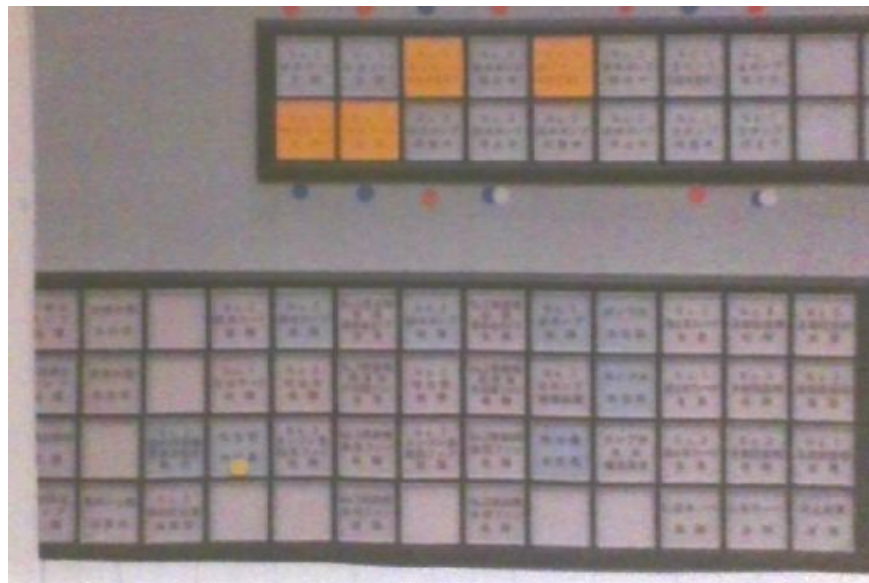
それ以外にも故障時のスイッチ、

放流スイッチなどがある。

このスイッチを押すことで、

町が水没することを防いでいる。

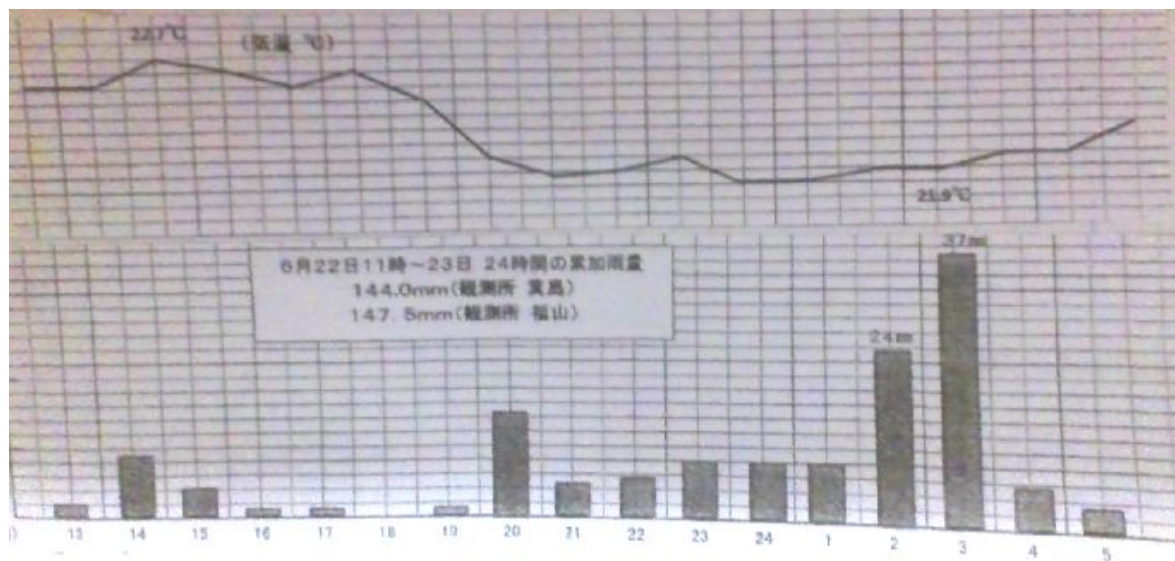
スイッチを押す人は、4人います！



スイッチを押す人が言っていた大変なこと

夜中は、気温が低いため雨の量が増える＝スイッチをを押さない町が水没する

だから夜寝ているときに「スイッチを押してください」とメールが来て起こされるということだそうです。



インタビューをしてみました。

(地球温暖化で困ること)

水が減る

水圧が上がること

(どうやってスイッチを押す4人を決めましたか)

家が近い人

仕事をしていない人

すぐに駆けつけれる人

(4人は仕事以外に何をしていますか?)

町内会の会長などの役員を引き受けている



振り返り

私は、これを通してやっぱりゴミは捨てたらいけないということを
考え直す事ができました。

皆さんも心の中で考えてみてくださいね！

終わり



ありがとうございました